

津みらい

かしわざ  
柏木はるみ

録画映像



## 問 年々増加傾向にある不登校児童生徒について問う

不登校児童生徒は、年々増加傾向にあり、津市においては令和4年度に585人が不登校となっている。

令和3年度に文部科学省が実施した「不登校に関する調査研究協力者会議」の結果が出ているが、津市教育委員会としてどのように受け止めているのか。

## 答 不登校児童生徒と学校との認識の差を重くとらえ研修等を行う

文部科学省が令和4年度に学校等に対して実施した調査では、不登校の要因として考えられるのは、「無気力・不安」という回答が4割を超えたが、令和2年度に不登校の状況にあった児童生徒に対して実施した調査では、行きづらいつ感じ始めたきっかけは、「先生のこと」、「友達のこと」、「身体の不調」、「勉強が分からない」、「きっかけが何か自分でもよくわからない」などの回答が多く、認識の差が明らかになった。津市ではこの結果を重くと捉え、不登校を経験した児童の作文を基に作成した教職員向けの資料等を活用し、各学校で研修を行うなどの取り組みを進めている。

### その他の質疑・質問

- 男女共同参画の視点での大規模災害対策は
- 津市防災会議・津市（危機事象）連絡調整会議等における男女委員の比率は
- 避難行動要支援者数（男女別）は
- 女性、子ども、介護・介助者別休養スペースや、心と体のケア、生活相談についての考え方は
- 避難所運営委員会に女性の参画促進を **など**

▶  
教育支援センターほほえみ教室が設置されている「三重大学・津市子ども教育センター」



しんわかい  
津和会

さとう ちこ  
佐藤 知子

録画映像



## 問 聞こえづらい防災無線問題の解消に向けた具体策を問う

災害時、防災無線が聞こえづらいという問題を解決し、自宅や車中などに避難している避難所外避難者が支援物資の受け取り情報や給水車による水の供給情報等を得られるように、防災ラジオを各世帯に配布し、自治会単位で情報収集ができるシステムを構築してはどうか。

## 答 総合的に検討していきたい

平成20年から平成22年にかけて整備した今の防災無線の必要な部分を更新し、引き続き使っていくことを前提に、令和6年度予算に地域防災情報通信システム（同報系）の機能を強化していく予算を計上している。

新しい仕組み等については、将来的に地域防災情報通信システム（同報系）のシステム全体を入れ替えるときがくると思うので、そのときに費用や機能面など総合的に検討していきたい。

### その他の質疑・質問

- 放課後児童クラブ整備事業について
- 「広報津」の発行回数見直しについて
- 学校部活動について
- 千歳山旧川喜田家表門の保全について **など**

▶  
防災無線に活用されている屋外スピーカー

